

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	利用者の身体機能の低下により、A DLが自立している方は少なく、日常的な外出支援の機会が減少している。	個別の外出支援の機会を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子生活で外出機会の少ない方はまず外にお連れし少しでも外気にあたる機会を増やし自然を感じることを援助する。</li> <li>・ドライブが楽しめる方には今よりももっとその機会を増やす。</li> <li>・買い物希望される方にはその機会を確保する。</li> </ul>	3ヶ月
2	24	役割、楽しみごとや気晴らしへの支援が十分でない。(限定的な支援にとどまっている。)	自分からやりたくなる場面を多くつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道具、対象物などを目の前に示し声をかけることで自然に手が出るような場面を作ったり、会話しながら行い、一緒に作業することで感じられる雰囲気、気分を共有する。</li> <li>・外出を増やし、そういった機会に会話することで自然を感じたり、気分が開放されるよう援助する。</li> </ul>	3ヶ月
3	27	避難訓練(総合)が年2回で、災害対策が不十分である。	自主的な避難訓練を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防法で義務付けられた年2回以上の総合訓練の間に、自主的な避難訓練を行っていく。</li> <li>4月、10月の総合訓練の間に各1回(7月、2月)行う。</li> </ul>	6ヶ月
4	26	帰宅、外出願望の強い入居者がおられ、実際に無断外出が数回あり、鍵をかけている。	鍵をかけないケアを工夫、実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の言動などで早めにキャッチし、無断外出を未然に防ぐ。一緒に出かける。</li> <li>・目的や心配事がある場合の行動の場合には、会話し、解決策を伝えることで納得される場合もあるので、そういった情報を職員間で共有、見守りを意識するなど無断外出を防ぐ。</li> <li>鍵をかけない工夫を全員で考えて実践していく。</li> </ul>	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。